

2019年6月

JAPAN  
ENVIRONMENTAL  
MEASUREMENT AND  
CHEMICAL ANALYSIS  
ASSOCIATION

# 業務案内

SINCE 1974.4



一般社団法人 日本環境測定分析協会

JAPAN ENVIRONMENTAL MEASUREMENT AND CHEMICAL ANALYSIS ASSOCIATION

## 健全で恵み豊かな環境を維持するために

一般社団法人日本環境測定分析協会(JEMCA)は、  
環境への負荷の測定分析を通じて、  
環境の保全に貢献します。

JEMCA: 一般社団法人日本環境測定分析協会  
(JAPAN ENVIRONMENTAL MEASUREMENT AND CHEMICAL ANALYSIS ASSOCIATION)

---

## 健全で恵み豊かな環境を維持するために

《一般社団法人 日本環境測定分析協会(JEMCA)の役割》

環境を健全で恵み豊かなものとして維持することは人間の健康で文化的な生活に欠くことができないものです。一方で、環境は限りあるもので、今や、人間の活動による環境への負荷によって損なわれるおそれが生じてきています。このため、現在及び将来の世代の人間が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに、人類の存続の基盤である環境が将来にわたり維持されるようにするためには、環境の保全が適切に行われなければなりません。

一般社団法人 日本環境測定分析協会(JEMCA)が担っている大気汚染物質、水質汚濁物質や騒音等の環境への負荷に係る測定分析の業務は、環境への負荷の大きさを把握し、環境への負荷を軽減するための環境の保全の効果を評価するために必要不可欠なものであり、何よりも的確なものでなくてはなりません。

このため、一般社団法人 日本環境測定分析協会(JEMCA)は、環境測定分析に関する知識及び技術を普及し、環境計量士をはじめとする環境測定分析に携わる者の資質を高めるとともに、環境測定分析事業の適正な管理の推進を図ることにより、環境測定分析に対する社会的な信頼性を高め、もって、環境の保全に寄与し、国民経済の健全な発展と公共の福祉の増進に貢献しています。

---

## よりの確な環境測定分析を目指して

《一般社団法人 日本環境測定分析協会(JEMCA)の活動》

一般社団法人 日本環境測定分析協会(JEMCA)は、よりの確な環境測定分析を目指し、多様な活動を展開しています。

## ■調査研究

一般社団法人日本環境測定分析協会(通称「日環協」または「JEMCA」)では、大気、水質・土壌、騒音・振動等の測定技術に係る調査研究等を実施し、その成果をとりまとめ公表しています。近年取りまとめられた成果物としては、新規制定となる「排ガス中の一酸化二窒素分析方法」の JIS 原案作成、土壌溶出試験方法に関する前処理方法の調査研究(環境省)、環境計量証明事業者(事業所)の実態調査報告書、騒音・振動測定や水質・土壌測定に関するQ&A集があります。

また、濃度関連と騒音・振動関連のそれぞれのテーマについて、計量管理講習会を定期的実施しており、放射線量及び放射能濃度等の測定分析に関する知識及び技術の向上を目的とした「放射能測定分析技術研究会」(RADI 研)では、クロスチェック(毎年)とセミナー(年2回)等を実施しています。

## ■教育研修

環境測定分析に携わる者の資質の向上を図るために、「新任者教育テキスト」等の研修用テキストを編纂するとともに、研修会等の講師を務めるJEMCAインストラクターの登録を進めています。

また、次のような環境測定分析に係る知識及び技術に係る研修会等を実施しています。

- 技術士(環境部門)受験講習会
- 分析実務研修会
- 環境計量士受験のための準備講習会及び直前講習会
- アスベスト分析に係る研修
  - ・位相差/偏光顕微鏡を使用したアスベスト繊維計数技能向上プログラム
  - ・位相差/偏光顕微鏡を使用した環境大気中のアスベスト繊維計数の実技研修
  - ・偏光顕微鏡を用いた JIS A 1481-1 及び JIS A 1481-4(建材中アスベストの定性分析および定量分析)の実技研修



## ■資格認定

日環協は、平成18年から、環境測定分析に携わる者の知識及び技術の向上を図り、環境測定分析に係る社会的な信頼性を確保することを目的として、協会独自の制度として環境測定分析士1級・2級・3級並びに環境騒音・振動測定士上級・初級の資格認定を行っています。



## ■標準等の普及

JIS原案作成等の環境測定分析事業の適正な管理を推進するための標準等を作成し、近年、次のような成果物が公表されています。

- 計量証明対象物質名等及び計量の方法と機器又は装置(毎年度更新)
- JIS K 0170 シリーズ 流れ分析法による水質試験方法の原案作成
- JIS Z 8808 排ガス中のダスト濃度の測定方法等の大気試験方法の原案作成

## ■精度管理事業

環境測定分析事業の適切な管理を推進し、環境測定分析に係る社会的な信頼性を確保するために、SELF (Analytical Data Self control Member; 分析値自己管理会) と ISO/IEC 17043 に基づく技能試験を実施しています。

このうち、SELF は、環境測定分析事業所において自ら測定分析した分析値について自己診断し、精度管理に行うための事業であり 30 年以上継続している事業です。毎年度 4 回、様々な測定項目に係る試料を配付しており、約 400 の事業所が参加しています。

一方、技能試験は、毎年度 5 回、水中の重金属・農薬・生活環境項目等やガス中の成分分析等の測定分析項目に係る試料を配付して、参加試験所から報告された分析値を統計解析し、参加試験所に分析値の評価結果を含めた報告書を送付しています。

また、アスベスト技能試験を平成 26 年度より実施しています。

これらの技能試験とは別に、日環協は、独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) の指名に基づき、3 年毎にダイオキシンに係る MLAP\* 技能試験を実施しています。

※ MLAP ; Specified Measurement Laboratory Accreditation Program; 特定計量証明事業者認定制度

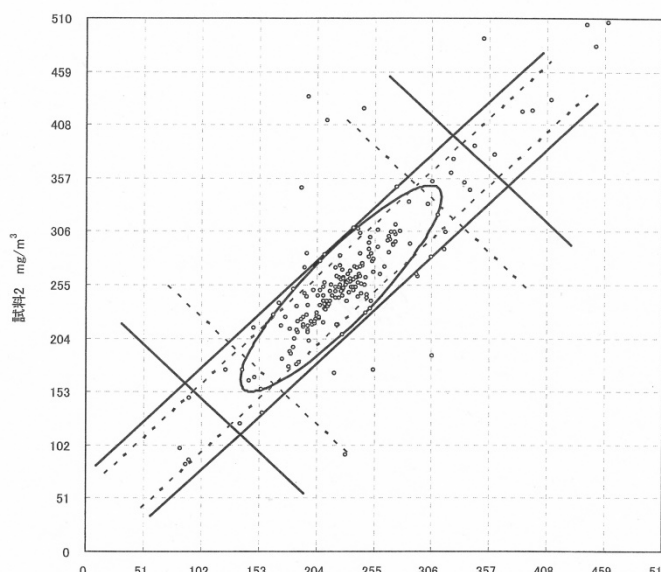


図 信頼域楕円および複合評価図入りユーデンプロット

## ■関係機関交流

日環協は、毎年 11 月には、関係機関と協力して計量記念日記念事業を実施しているほか、(公社)日本分析化学会、(一社)廃棄物資源循環学会、(一社)日本環境化学学会、環境放射能除染学会\*等と各種団体と交流し、これらの団体のイベント情報等を協会のホームページで紹介し、各団体の活動に協力しています。

また、日環協は、国際独立試験所連合 (IILI; Union Internationale des Laboratoires Indépendants) の会員で、IILI の活動に参画しています。IILI が実施している国際試験所間比較試験 (ILP; Inter Laboratory Practice) について、当協会は、国内の参加試験所の募集、国内参加試験所の測定分析結果の IILI への報告、国内参加試験所への報告書の配付等の協力を行っています。

このように、日環協は、国内外の関係機関との交流・協力を深めることにより、我が国の環境測定分析事業の発展に寄与しています。

※一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会



## ■組織強化

日環協は、地域の関係者の交流を通じて、協会活動に対する理解を深めていただくために、北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州の7つの支部を設置し活動しています。

また、支部の持ち回りで、日環協環境セミナー全国大会と日環協経営者セミナーを毎年度開催しています。全国の関係者の方々には、ぜひとも、これらの協会の行事にご参加下さい。

### ○支部活動

各支部においては、新任者教育研修や技術者基礎講座等の研修会、講演会、施設見学会、関係機関との交流等の活動を実施するとともに、協会のPRを行っています。

### ○日環協環境セミナー全国大会

このセミナーは、2日間にわたり開催され、学識経験者・行政担当官等による講演会、環境測定分析技術者の研究発表会、分析機器・装置等の展示が行われています。

### ○日環協経営セミナー全国大会

このセミナーは、環境測定分析に携わる経営者等の資質向上を図るために開催されており、学識経験者・行政担当官等による講演が行われています。



## ■図書の出版と会誌の発行

日環協は、環境計量士受験のための参考書である「環境計量士国家試験問題の正解と解説」※や、環境測定分析実務者のための「失敗から学ぶ環境測定分析」「騒音レベル測定マニュアル」等の図書を発行しています。

また、日環協は、会誌「環境と測定技術」(月刊)を発行し、技術論文、委員会等の調査報告、環境測定分析に関する官報の抜粋等の行政情報、協会の活動に関するお知らせ等を掲載しています。



※eラーニング(電子テキスト)として、インターネット配信中

## ■標準物質頒布

日環協は、2012年1月より技能試験の試料調製技術を活用し、標準物質(RM: reference material)を作製・頒布しております。環境測定分析技術者の技術力アップ、内部精度管理、技能試験結果のフォローアップ等にご活用ください。



## ■極微量物質研究会

極微量物質研究会は、ダイオキシンやPCB等の残留化学物質(「極微量物質」という。)の測定分析技術の向上等を図ること等を目的として、日環協内に、設置された組織です。

本研究会は、

- 極微量物質に関する調査及び情報・資料の収集並びに提供  
(例;絶縁油中 PCB 測定分析に関する都道府県等補助金制度についての調査)
- 極微量物質測定分析技術に関する調査及び研究並びにその成果の普及  
(例;極微量物質研究会セミナー)
- 極微量物質測定分析技術に関するクロスチェック等の実施  
(例;ダイオキシンに係るクロスチェック、絶縁油中 PCB に係るクロスチェック)

等の事業を実施しています。

## ■書籍等の斡旋

日環協は、会員の皆様に対して、環境六法や JIS 等の環境測定分析業務上で必要な書籍の普及に関して仲介・斡旋をしています。

また、環境測定分析業務賠償責任保険及び試験所賠償責任保険を斡旋し、環境測定分析事業者の安定的な経営と顧客に対する信頼性の確保に努めています。

## ■情報提供 その他

○毎年 9 月に開催される「JASIS」(分析・科学機器展)に出展し、協会の活動などを紹介しています。また、「日環協セミナー」を同会場で開催し、環境測定分析に関する最新情報等を発信しております。

○日環協 (JEMCA) ビル内会議室等の空室時における有効利用を図るため、会員・非会員を問わず、外部団体等への貸し出しを行っております。

以上のような日環協の活動は、随時、協会のホームページで紹介されていますので、ご参照下さい。

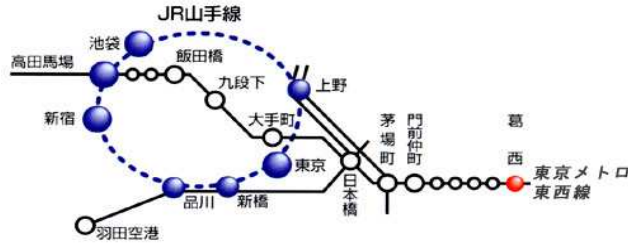
また、日環協では、会員の他、一般の皆様からの電話や電子メールによる環境測定分析に係るご相談を受け付けております。

<日環協 HP の URL ; <https://www.jemca.or.jp/> >

<日環協への e-mail ; [info@jemca.or.jp](mailto:info@jemca.or.jp) >

## 本 部

一般社団法人日本環境測定分析協会  
 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4  
 TEL:(03)3878-2811 FAX:(03)3878-2639



**アクセス:**

東京メトロ東西線 葛西駅下車 葛西橋通り方面徒歩10分  
 (快速電車は葛西駅に停車いたしませんのでご注意ください)



## 支 部

支部名	所在地	電話番号
北海道支部	〒062-0931 北海道札幌市豊平区平岸一条 8-6-6 (一財)北海道薬剤師会公衆衛生検査センター 内	011-824-1348
東北支部	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 2-5-1 東北緑化環境保全(株) 内	022-263-0652
関東支部	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 (一社)日本環境測定分析協会 内	03-3878-2811
中部支部	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 1-2-4-405 (一社)愛知県環境測定分析協会 内	052-321-3803
関西支部	〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町 1 番地 (株)島津テクノリサーチ 内	075-811-3183
中国・四国支部	〒721-0957 広島県福山市箕島町南丘 399-46 (株)日本総合科学 内	084-981-0181
九州支部	〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町 2-4 環境テクノス(株) 内	093-883-0150



**一般社団法人 日本環境測定分析協会**

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4  
TEL:03-3878-2811 FAX:03-3878-2639

2019年6月

詳しい業務案内・新着情報等は  
当協会ホームページをご覧ください

<https://www.jemca.or.jp/>